

# 消防年報

平成26年版



二宮町消防本部

## まえがき

この消防年報は、消防行政の合理的な運営と、消防力の充実強化のための資料とし、あわせて、二宮町の消防現勢と平成25年中及び近年中における火災の実態や、消防、救急そして救助活動などの現状等について、消防関係者はもとより広く町民の方々にも紹介して、消防行政に対するご理解、ご協力をいただくとともに、防火思想と救急知識の高揚を図ることを目的として作成したものです。

本町の消防を知っていただく手がかりとして、また、火災や救急、救助そしてその他の災害予防のために少しでもお役にたてれば幸いです。

平成 26 年 9 月

二宮町消防本部

## 町民憲章

昭和53年7月5日制定

わたくしたちは、美しい自然に恵まれた「長寿の里」二宮の町民であることに誇りと責任をもって、より明るく豊かな町づくりのために町民憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、自然をいかすきれいな二宮町をつくりましょう。
2. ふれあいを深め、ことばをかけあうさわやかな二宮町をつくりましょう。
3. きまりを守り、良習をはぐくむ住みよい二宮町をつくりましょう。
4. 幸せを願い、健やかな明るい二宮町をつくりましょう。
5. 教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう。

### 町の鳥

平成23年1月5日制定



『ヤマガラ』  
常緑広葉樹林を好み、人懐っこく親しみやすい鳥で町が目指す自然豊かな心のふるさと「里山」のシンボルにふさわしい鳥です。

### 町の木

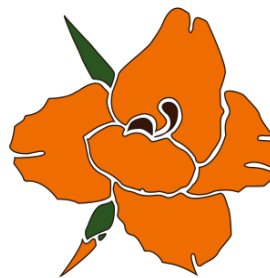
昭和48年11月3日制定



『つばき』  
古くから武士や高貴な身分の人々にめでられ品種も多くさし木などで簡単にふやせます。町の中にも多く親しみの深い木です。

### 町の花

昭和48年11月3日制定



『カンナ』  
明治の末に渡来した花で、生命力が強く、赤や黄と色もあざやかです。他の花の少なくなった頃に咲き出して町の中を明るくします。

# 目 次

## 二宮町の概要

◇概要	1
位置と地勢	1
人口の推移	2
◇消防の予算	3
町予算と消防予算との比較	3
消防予算額の内訳	3
消防費の人口比	3
◇消防のあゆみ	4

## 消防の現況

◇消防力の現況	9
職員の定員と実員	9
消防勢力	9
◇消防の組織	10
組織図	10
歴代消防長・消防団長	10
消防本部の仕事	11
消防署の仕事	11
消防庁舎の概要	11
消防ポンプ車等配置状況	12
消防配置図	13
平成25年度の主要行事	13
◇消防職員	14
消防職員年齢	14
消防職員勤続年数	14
消防職員居住地状況	14
◇消防団	15
消防団員の定員と実員数	15
消防団員の内訳とポンプ台数	15
消防団員勤続年数	15
消防団員年齢	16
消防団員の職業構成と就業形態	16
団員報酬	16
◇消防職員・団員受賞歴	16

## 火災予防

◇火災予防	17
火災予防条例に基づく届出状況	17
(1)各種届け出状況	17
(2)防火対象物使用開始届出状況	18
消防用設備等設置届出状況	19
防火管理者届出状況	20
中高層建築物一覧表	21
用途別の消防同意処理状況	22
◇危険物	23
危険物製造所等の区別設置件数の推移	23
危険物製造所等における危険物の貯蔵及び取扱量	23
倍数別危険物製造所等の設置状況	24
危険物製造所等に係る申請及び届出の状況	24
◇査察	25
(1)危険物製造所等に対する査察等の実施状況	25
(2)防火対象物に対する査察実施状況	26
(3)消防用設備等に対する完成検査実施状況	27

## 消防の活動

◇火災概要	28
火災の発生状況(過去10年間)	28
月別火災発生状況	29
◇消防隊の出場状況(火災・救急出動を除く)	30
月別救助・警戒出場状況	30
月別救急支援・応援火災出場状況	30
◇救急	31
救急出場件数推移	31
月別救急活動状況	32
曜日別救急発生状況	33
時間別救急発生状況	33
事故種別不搬送件数	34
地区別出場件数	34
覚知別、交通事故の道路別出場件数	34
所要時間別出場件数と搬送人員	34
傷病程度と年令別搬送人員	35
応急処置等実施状況	35
応急手当講習会実施状況	36

◇通信	37
通信系統図	37
◇災害出動体制	38
救助出動体制	38
水防(自然災害)出動と体制	39
消防相互応援協定	39
◇消防水利	40
消防水利の現勢調	40
◇気象	41
月別気象状況	41
気象予報等発表状況等調(県内に発表された気象通報回数)	42
過去5年間の気象	42

# 二宮町の概要

---

## ◇ 概要 ◇

二宮町は最初、師長(しなが)国に属する霜見という地名で呼ばれた東国の一山村でしたが、大化の改新(645年)で国、郡、里の制がとり入れられると相模国に合併されました。

また、その頃、級津彦命(しなつひこのみこと)などをまつる川勾神社が、寒川神社の相模国「一の宮」に対し「二の宮」と称され、地域の鎮守として多くの人々から信仰されました。この頃から霜見も含めてこの地方が「二宮」と呼ばれるようになりました。

江戸時代には、幕府直轄地となって、一色、中里、二宮、山西、川勾の五カ村による村制が施行され東海道の間の宿場として賑わいました。

明治22年に市町村制が施行され、五カ村が合併し吾妻村となって、同年東海道本線の開通、明治35年には二宮駅の開設と発展し、昭和10年11月、町制の施行で二宮町となりました。

昭和40年代からは、気候温暖で山と海に囲まれたなだらかな丘陵が住宅地として人気を集め、住宅の造成も急速に進められ年々人口が増加しました。

昭和57年には二宮駅舎が改良され、町の玄関が一新するとともに、道路、公園、体育館など公共施設の建設が進められて来ました。

現在は、公共下水道をはじめとする生活基盤の整備も進めており、よりよい住環境の実現のため新しいまちづくりを推進し、町制施行時半農半漁ののどかな村であった二宮町は、穏やかな気候、風土があいまって住みよい湘南の住宅地として発展しながら現在に至っています。

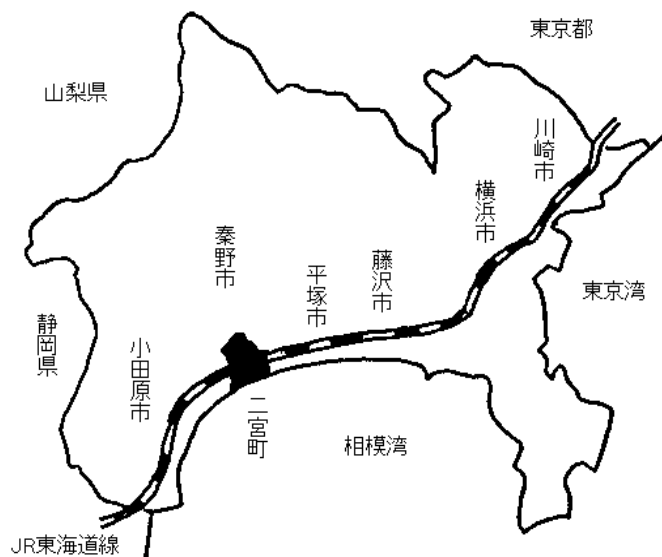
### ▼ 位置と地勢 ▼

二宮町は、神奈川県南西部に位置し、東経139度15分18秒北緯35度18分17秒(消防本部)に位置し、東京から約70kmの所にあり、東は大磯町、北は丹沢連峰を背に中井町、西は中村川を挟んで小田原市に隣接、南は相模湾に臨んでいます。

町の東西に東海道本線、東海道新幹線、国道1号線、西湘バイパスと小田原厚木道路が走り、南北に県道秦野二宮線があつて、それぞれ町道と連結し交通至便なところです。

町全体の形状は、おおよそ三角形で南部に広く東西の幅3.3km、北に進むに従って狭く南北に3.8km、総面積は9.08km<sup>2</sup>で、地形的には山地部と平野部のバランスがとれていて、東西に分裂するかのよう2級河川の葛川が流れています。

気候は、冬暖かく夏涼しく、豊かな自然と新鮮な海の幸・山の幸に加え、純朴な風土と素晴らしい生活環境です。



## ▼ 人口の推移 ▼

《各年別》

各年4月1日現在

項目 年別	世帯数	人 口			1 世 帯 当 り の 人 口	人口密度 (人/km)	人口指数 (昭和60年 =100)
		計	男	女			
昭和60年	8,433	28,874	14,232	14,642	3.42	3,223	100.0
平成 2年	9,850	29,418	14,409	15,009	2.99	3,283	101.9
平成 7年	10,375	30,887	15,280	15,607	2.98	3,447	107.0
平成12年	10,935	31,099	15,287	15,812	2.84	3,471	107.7
平成17年	11,028	30,320	14,752	15,568	2.75	3,339	105.0
平成18年	11,028	30,078	14,588	15,490	2.73	3,313	104.2
平成19年	11,113	29,832	14,460	15,372	2.68	3,285	103.3
平成20年	11,143	29,591	14,339	15,252	2.66	3,259	102.5
平成21年	11,274	29,578	14,317	15,261	2.62	3,257	102.4
平成22年	11,388	29,633	14,375	15,258	2.60	3,264	102.6
平成23年	11,475	29,514	14,294	15,220	2.57	3,250	102.2
平成24年	11,438	29,325	14,217	15,108	2.56	3,230	101.6
平成25年	11,477	29,152	14,131	15,021	2.54	3,211	101.0
平成26年	11,514	28,870	13,978	14,892	2.51	3,180	100.0

《地区別》

各年4月1日現在

項目 地区別	平 成 26 年		平 成 25 年		平 成 24 年	
	人 口	世帯数	人 口	世帯数	人 口	世帯数
合 計	28,870	11,514	29,152	11,477	29,325	11,438
一 色	867	297	889	300	895	292
百合が丘	3,891	1,750	3,954	1,747	4,017	1,763
中 里	3,280	1,288	3,296	1,279	3,310	1,279
富士見が丘	3,207	1,238	3,222	1,232	3,265	1,232
二 宮	7,860	3,262	7,914	3,239	7,937	3,216
松 根	502	179	498	176	492	175
山 西	6,391	2,506	6,430	2,509	6,446	2,490
川 匂	655	231	661	229	653	228
緑 が 丘	2,217	763	2,288	766	2,310	763

☆ 平成22年度国勢調査結果を基礎数値としています。



## ◇ 消防の予算 ◇

### ▼ 町予算と消防予算との比較 ▼

平成26年度の一般会計当初予算は、7,600,000 千円（前年度対比1.4%減）で、消防費の当初予算は433,900 千円（前年度対比 2.9%増で）一般会計当初予算に占める割合は、5.7%となっています。

年度 区分	平成26年度	平成25年度	平成24年度
一般会計予算	7,600,000 千円	7,710,000 千円	7,512,000 千円
消防予算額	433,900 千円	421,800 千円	363,148 千円
比率	5.7%	5.5%	4.8%

### ▼ 消防予算額の内訳 ▼

内 訳	金 額	構 成	前年度比
消防費	433,900 千円	100.0%	12,100 千円
常備消防費	411,600 千円	94.9%	65,900 千円
非常備消防費	22,300 千円	5.1%	▲ 53,800 千円

▲は減額

### ▼ 消防費の人口比 ▼

当初予算額	1世帯当たり	人口1人当たり
一般会計予算額	7,600,000 千円	660,066 円
消防予算額	433,900 千円	37,685 円

※国勢調査を基礎とした世帯数及び人口（H26年4月1日現在 世帯数：11,514世帯 人口：28,870人）

## ◇ 消防のあゆみ ◇

明治 12年	一色村に消防器具を備えた消防体制が整備される。
明治 17年	一色村に私設消防組が誕生。
明治 25年	中里地区に私設消防組が誕生し、その後二宮、梅沢、山西の各地区に消防組誕生。
明治 37年	公設消防組を設置。(一色、中里、二宮、山西の各消防組)
大正 12年 9月	関東大震災発生。圧死21名、焼死4名、重傷者26名、全焼6戸、全壊406戸、半壊364戸、罹災人員4,716人。
昭和 6年	二宮消防組の手押ポンプを廃し、ガソリンポンプに切替。
昭和 10年 10月	葛川氾濫による水害発生。流失6戸、半壊4戸、床上浸水137戸、床下浸水155戸、道路欠損39ヶ所、橋流失17ヶ所、罹災人員1,639人。
昭和 12年 9月	各地区消防組を統一、二宮消防組となる。
昭和 14年 4月	二宮町警防団となる。(警防団員431名)
昭和 15年 1月	南口駅前大火発生。全焼69戸、半焼4戸、焼失棟数106棟、罹災人員374名。
	1月 第1分団に消防ポンプ自動車を配置。
昭和 16年 7月	葛川氾濫による水害発生。流失9戸、床上浸水124戸、罹災人員 2,940人。
昭和 23年 4月	消防組織法が施行され、自治体消防として消防団を設置。(4ヶ分団、消防団員258名)、二宮町消防団条例、規則、服務規程等を制定。
昭和 24年 6月	二宮町火災予防条例を制定。
昭和 27年 5月	第1回全国消防大会開かれる。
昭和 29年 4月	第2分団区域を2区域に分割、第2、第3分団とし、従来の第3、第4分団をそれぞれ、第4、第5分団と名称を変えて5個分団に組織替えし、1個分団20名編成となる。(団員数103名)
	11月 第3分団消防車庫を新築、同分団に消防ポンプ自動車、第4、第5分団に小型動力ポンプと積載車を配備。
昭和 30年 7月	県営水道が開通、消火栓を設置。
	10月 第2分団に消防ポンプ自動車を配備。
昭和 32年 8月	二宮町消防団員等公務災害補償条例・規則を制定。 第7回神奈川県消防操法大会に第2分団消防ポンプ自動車が出場。
昭和 33年 3月	(財)日本消防協会より表彰、竿頭綬を受ける。
	7月 二宮町消防団条例・規則を改定。
昭和 34年 11月	第1分団の消防ポンプ自動車を更新。
昭和 35年 8月	第10回神奈川県消防操法大会に第1分団消防ポンプ自動車が出場。
昭和 36年 9月	電話自動化により火災専用電話(119番)を役場に設置。
	12月 第4、第5分団の小型動力ポンプ更新。
昭和 37年 3月	消防庁長官より表彰、竿頭綬を受ける。
	7月 二宮町火災予防条例を改正。
昭和 38年 9月	第13回県消防操法大会に第5分団小型動力ポンプが出場。
昭和 39年 3月	第2分団消防車庫を新築。

- 昭和 39年 3月 二宮町消防団員退職報償金制度が確立され、市町村の支給責任の共済制度を設ける。  
二宮町非常勤消防団員に係る退職報償金支給条例を制定。
- 昭和 41年 1月 第4分団消防車庫を新築。  
10月 第16回県消防操法大会に第4分団小型動力ポンプが出場。  
12月 第4分団に消防ポンプ自動車を配置。(BS- I 型)
- 昭和 42年 1月 第5分団消防車庫を新築。  
12月 第5分団に消防ポンプ自動車を配置。(BS- I 型)
- 昭和 43年 3月 第1分団消防車庫を新築。  
3月 自治体消防発足20周年。  
(財)日本消防協会より表彰旗を受け、表彰旗の伝達、披露式典。  
4月 二宮町非常勤消防団員退職報償金支給条例施行規則及び二宮町消防団員  
服務規程を制定。  
8月 二宮町火災予防条例施行規則を制定。  
10月 第1回二宮町消防操法大会開催。
- 昭和 44年 10月 第2回二宮町消防操法大会開催。  
第19回県消防操法大会に第3分団消防ポンプ自動車が出場。
- 昭和 45年 3月 消防庁長官より表彰旗を受け、表彰旗の伝達、披露式典。  
12月 第3分団消防ポンプ自動車(水槽付)を更新。
- 昭和 46年 3月 二宮町課等設置条例の一部を改正し従来の総務課消防係より、4月1日  
付をもって消防課の設置を議決。  
4月 県消防学校教官山崎勝也氏の派遣を受け、1年間の創設業務と職員の教  
養指導を行う。  
6月 二宮町消防職員の特殊勤務手当に関する条例の制定。  
8月 神奈川県より救急車(トヨタMS66VY) 寄贈。  
8月 第21回県消防操法大会に第2分団消防ポンプ自動車が出場。  
9月 二宮町救急業務規則、二宮町消防職員の勤務時間等規則を制定。  
救急業務開始(6日)。山崎消防課長以下職員15名。  
11月 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈。(BD- I 型)  
12月 第2分団消防ポンプ自動車を更新。(BS- I 型)  
二宮町消防本部及び消防署の設置等に関する条例、二宮町消防賞じゅつ  
金条例・規則の制定。
- 昭和 47年 1月 二宮町消防本部組織規則のほか、常備消防として必要な規則、規程を  
制定。  
2月 二宮町消防本部・消防署を設置。(職員20名 定員28名)  
消防署、水槽付消防ポンプ自動車を配置。(水- I B型)  
8月 第22回県消防操法大会に第1分団消防ポンプ自動車が出場。
- 昭和 48年 1月 屈折はしご付消防ポンプ自動車を購入。(15m級)  
3月 第3分団消防車庫を新築。  
4月 消防職員定数33名となる。

- 昭和 48年 8月 第23回県消防操法大会に消防署が屈折はしご付消防ポンプ自動車基準操法で出場。
- 11月 自治体消防発足25周年記念式を行う。
- 昭和 49年 2月 消防署に台車付小型動力ポンプ配置。
- 4月 消防署に緊急工作車(小型動力ポンプ積載)を配置。
- 8月 第24回県消防操法大会に第5分団消防ポンプ自動車が出場。
- 9月 第1分団消防ポンプ自動車を更新。(BS- I 型)
- 昭和 50年 9月 消防署車庫増築。
- 昭和 51年 4月 消防本部組織を一部変更、警防係を分割し予防係を新設。
- 8月 第26回県消防操法大会に第4分団消防ポンプ自動車が出場。
- 9月 藤田観光(株)より救急車の寄贈。
- 昭和 52年 9月 消防団条例改正審議始まる。
- 昭和 53年 3月 自治体消防発足30周年記念式を行う。
- 3月 消防団条例改正、議会で可決。
- 4月 消防団員103名から78名に減員。
- 8月 第28回県消防操法大会に第3分団が出場し、最優秀賞。
- 10月 全国消防操法大会に二宮町消防団として第3分団が出場。
- 昭和 54年 7月 消防署指令車更新。
- 昭和 55年 8月 第30回県消防操法大会に第2分団が出場。
- 昭和 56年 2月 二宮町防災備蓄倉庫落成。
- 11月 第4分団小型動力ポンプ更新。
- 昭和 57年 2月 (財)日本消防協会特別表彰「まとい」受賞。
- 3月 二宮町消防本部・消防署創設10周年及び日本消防協会特別表彰「まとい」受賞の記念式典を行う。
- 7月 第1・第2・第3分団小型動力ポンプを配備。  
従来からの第4・第5分団を含み全分団配備する。
- 8月 第32回県消防操法大会に第1分団が出場。
- 11月 消防署水槽付消防ポンプ自動車更新。
- 昭和 58年 6月 第5分団車庫移転、新築。
- 8月 第33回県消防操法大会に消防署が応用操法に出場。
- 10月 第4分団消防ポンプ自動車更新。(CD- I 型)
- 昭和 59年 8月 第34回県消防操法大会に第5分団が出場。
- 昭和 60年 3月 消防署救急車更新。
- 10月 第5分団消防ポンプ自動車更新。(CD- I 型)
- 昭和 62年 3月 (財)日本消防協会より表彰第2回目の竿頭授受ける。
- 9月 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈。(BD- I 型)
- 11月 第3分団消防ポンプ自動車更新。(CD- I 型)
- 昭和 63年 7月 消防署指令車更新。
- 8月 第36回県消防操法大会に第4分団が出場し、優秀賞。  
(財)日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車寄贈。
- 平成 元年 10月 第2分団消防ポンプ自動車更新。(CD- I 型)

- 平成 2年 7月 消防署救急車更新。
- 平成 3年 8月 消防署資機材搬送車を購入。  
9月 第1分団消防ポンプ自動車更新。(CD- I 型)
- 平成 4年 4月 消防職員定数34名となる。防災担当職員1名町より派遣。  
7月 第38回県消防操法大会に第3分団が出場。  
9月 はしご付消防ポンプ自動車購入。(15m級)
- 平成 5年 4月 消防職員定数36名となる。
- 平成 6年 4月 消防職員定数37名となる。  
11月 救急救命士1名配置。
- 平成 7年 1月 阪神・淡路大震災に救助隊を応援派遣。  
11月 高規格救急自動車を購入。救急救命士1名配置(全2名)
- 平成 8年 4月 消防職員定数38名となる。  
7月 第40回県消防操法大会に第2分団が出場。  
12月 消防署水槽付消防ポンプ自動車更新。(水- I B型)
- 平成 9年 4月 防災係、総務部総務課へ移行。消防職員1名派遣。  
消防本部組織を一部変更、消防課を新設、1課3係となる。  
救急救命士1名配置。(全3名)  
11月 救急救命士1名配置。(全4名)
- 平成 10年 3月 庁舎増設部完成、緊急情報システム更新。(I型)  
10月 庁舎既存部耐震補強工事完成。  
11月 第4分団消防ポンプ自動車更新。(CD- I 型)  
12月 財日本消防協会へ第4分団旧消防ポンプ自動車を寄贈。  
第4・第5分団小型動力ポンプ更新。
- 平成 11年 9月 第2・4分団車庫耐震補強工事完了。  
11月 救急救命士1名配置。(全5名)
- 平成 12年 7月 第42回県消防操法大会に第1分団が出場。  
8月 消防団無線を整備。(団本部・分団車両・携帯無線機)  
12月 第5分団消防ポンプ自動車更新。(CD- I 型)
- 平成 13年 1月 財日本消防協会へ第5分団旧消防ポンプ自動車を寄贈。  
3月 高規格救急自動車を日本自動車工業会から寄贈される。  
3月 高度救命資器材等を整備。
- 平成 14年 2月 消防署消防ポンプ自動車更新。(CD- I 型・災害対応特殊仕様)
- 平成 15年 10月 第3分団消防ポンプ自動車更新。(CD- I 型)  
11月 救急救命士1名配置。(全6名)  
12月 財日本消防協会へ第3分団旧消防ポンプ自動車を寄贈。
- 平成 16年 7月 第44回県消防操法大会に第5分団が出場。消防署積載車更新。
- 平成 17年 4月 消防職員定数46名となる。消防職員2名採用する。  
10月 第2分団消防ポンプ自動車更新。(CD- I 型)  
12月 財日本消防協会へ第2分団旧消防ポンプ自動車を寄贈。
- 平成 18年 4月 消防職員3名採用する。  
平塚市消防本部と職員交流実施、1名派遣。  
救急救命士1名配置。(全7名)  
12月 消防署救助工作車購入。(II型)

- 平成 19年 4月 消防職員3名採用する。  
消防職員1名を総務部(防災安全係)へ派遣。  
8月 第1分団消防ポンプ自動車更新。(CD-I型)
- 平成 20年 2月 (財)日本消防協会から広報車寄贈。  
4月 消防職員4名採用する。  
消防職員2名を総務部(防災安全係)へ派遣。  
救急救命士1名配置。(全7名)  
7月 第46回県消防操法大会に第4分団が出場。
- 平成 21年 2月 第1分団消防車庫を更新。  
3月 高規格救急自動車を日本自動車工業会から寄贈される。  
高度救命資器材等を整備。  
4月 組織・機構改革により、班長制の導入。  
消防職員3名採用する。  
消防職員3名を町民生活部(防災安全課)へ派遣。  
救急救命士1名配置。(全8名)  
7月 消防署指令車購入。
- 平成 22年 4月 消防職員3名を町民生活部(防災安全課)へ派遣。  
救急救命士1名配置。(全9名)  
9月 (財)日本外交協会へ消防署旧はしご付消防ポンプ自動車を寄贈。
- 平成 23年 3月 東日本大震災に伴い、緊急消防援助隊(計2隊・13名)を派遣。  
4月 消防職員2名採用する。  
消防職員2名を町民生活部(防災安全課)へ派遣。  
消防職員1名を都市経済部(都市整備課)へ派遣。  
救急救命士1名配置。(全10名)
- 平成 24年 1月 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入。(I-B型)  
2月 (財)日本外交協会へ消防署旧水槽付消防ポンプ自動車を寄贈。  
4月 消防職員2名採用する。  
消防職員2名を町民生活部(防災安全課)へ派遣。  
消防職員1名を都市経済部(都市整備課)へ派遣。  
救急救命士1名配置。(全11名)  
7月 第48回県消防操法大会に第3分団が出場。
- 平成 25年 4月 消防職員3名採用する。  
消防職員2名を町民生活部(防災安全課)へ派遣。  
救急救命士1名配置。(全11名)
- 平成 26年 3月 (財)日本消防協会より表彰第3回目の竿頭授受ける。  
第3分団消防車庫を更新。  
4月 消防職員4名採用する。(うち女性2名)  
消防職員2名を町民生活部(防災安全課)へ派遣。  
救急救命士1名配置。(全12名)

# 消防の現況

---

## ◇ 消防力の現況 ◇

### ▼ 職員の定員と実員 ▼

(平成26年4月1日現在)

階級 区分	計	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 吏員	派遣 職員
定員	46	階級別定員なし							
実員	46	1	4	8	8	12	10	1	2

### ▼ 消防勢力 ▼

(平成26年4月1日現在)

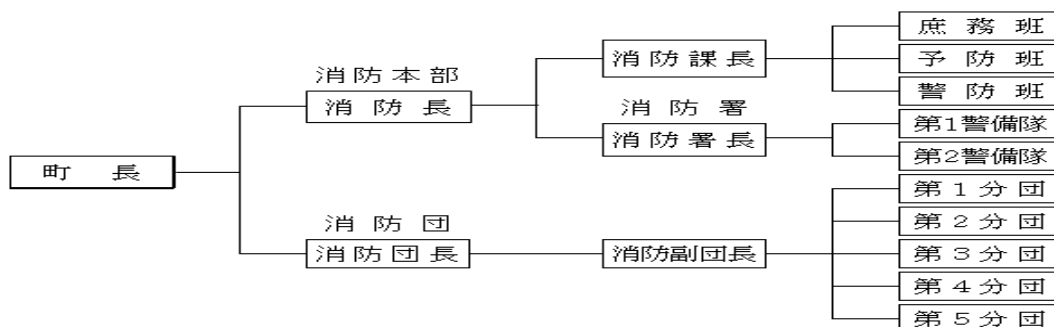
種別 区別	消防職員			消防団員			消防ポンプ車		
現況	46人			78人			7台		
基準単位	消防職員1名当り			消防団員1名当り			消防ポンプ車1台当り		
区分	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯
算定数値	0.20	627.6	250.3	0.12	370.1	147.6	1.30	4,124.3	1,644.9



# ◇ 消防の組織 ◇

## ▼ 組織図 ▼

(平成26年4月1日現在)



## ▼ 歴代消防長 ▼

代別	氏名	就任年月日	退任年月日	在任期間	摘要
初代	脇 哲	昭和47年 2月 1日	昭和49年11月30日	2年10月	助役兼任
2	柳川賢二	昭和49年12月 1日	昭和50年 1月31日	2月	町長兼任
3	池田準一	昭和50年 2月 1日	昭和56年 7月31日	5年 6月	助役兼任
4	渡辺 正太郎	昭和56年 8月 1日	昭和59年 6月30日	2年11月	
5	岩本公夫	昭和59年 7月 1日	昭和61年 3月31日	1年 9月	
6	加藤孝次	昭和61年 4月 1日	平成 2年 3月31日	4年	
7	橋川吉一	平成 2年 4月 1日	平成 2年12月31日	9月	
8	川口喜宏	平成 3年 1月 1日	平成 8年 3月31日	5年 3月	
9	露木 豊	平成 8年 4月 1日	平成 8年 7月 8日	3月	
10	西山喜介	平成 8年 7月 9日	平成 9年 3月31日	9月	助役兼任
11	脇 純治	平成 9年 4月 1日	平成10年12月31日	1年 9月	
12	古谷一夫	平成11年 1月 1日	平成17年 3月31日	6年 3月	
13	菊地 元	平成17年 4月 1日	平成20年 3月31日	3年	
14	原 幸男	平成20年 4月 1日	平成23年 3月31日	3年	
15	加藤義則	平成23年 4月 1日	平成24年 3月31日	1年	
16	西山弘和	平成24年 4月 1日	平成25年 3月31日	1年	
17	橋川壽郎	平成25年 4月 1日	平成26年 3月31日	1年	
18	小熊 朗	平成26年 4月 1日		現 在	

## ▼ 歴代消防団長 ▼

代別	氏名	就任年月日	退任年月日	在任期間
初代	西山喜八郎	昭和23年4月1日	昭和25年 3月31日	2年
2	片岡彦十郎	昭和25年4月1日	昭和27年 3月31日	2年
3	小沢新治	昭和27年4月1日	昭和31年 3月31日	4年
4	添田靖一	昭和31年4月1日	昭和33年 3月31日	2年
5	西山信次	昭和33年4月1日	昭和35年 3月31日	2年
6	野谷仲造	昭和35年4月1日	昭和37年 3月31日	2年
7	原 兼太郎	昭和37年4月1日	昭和39年 3月31日	2年
8	柳川賢二	昭和39年4月1日	昭和43年 3月31日	4年
9	原 久雄	昭和43年4月1日	昭和49年 3月31日	6年
10	渡辺 正太郎	昭和49年4月1日	昭和53年 3月31日	4年
11	西山 昇	昭和53年4月1日	昭和57年 3月31日	4年
12	脇 政雄	昭和57年4月1日	昭和61年 3月31日	4年
13	露木昭治	昭和61年4月1日	平成 4年 3月31日	6年
14	古木定男	平成 4年4月1日	平成 6年 3月31日	2年
15	簗島保男	平成 6年4月1日	平成12年 3月31日	6年
16	二見泰弘	平成12年4月1日	平成16年 3月31日	4年
17	柳川 駅司	平成16年4月1日	平成20年 3月31日	4年
18	杉崎一夫	平成20年4月1日		現 在

## ▼ 消防本部の仕事 ▼

消防本部は、市町村の消防事務を統括する機関で、人事・予算・消防の企画運営などの事務を行い、次のように各班に分かれて仕事を受け持っています。

### 《庶務班》

予算の編成・執行の調整、文書の送受・保存、例規の制定・改廃、職・団員の人事・公務災害・福利厚生、庁舎の維持管理、消防団の庶務、その他、他の班に属さないもの。

### 《予防班》

火災予防計画・指導、火災予防広報・啓発、防火管理、消防用設備の設置指導、危険物の貯蔵取扱い指導・規制、火気取扱い指導、建築物等の許認可の同意、その他、火災予防に関すること。

### 《警防班》

消防警備計画、消防相互応援協定、消防力整備計画、消防水利施設の整備・管理等、消防職員・消防団員の訓練、資機材・車両の管理運用、水防、応急手当等の普及、その他、警防に関すること。

## ▼ 消防署の仕事 ▼

消防署は、火災の予防・警戒・鎮圧・救急救助などの活動の第1線部隊としての仕事をしており、主な仕事は次のようになっています。

### 《警備隊》

災害の警戒、防ぎよ活動、救急・救助活動、火災の原因・損害調査、消防気象観測、地理・水利調査、車両・通信機器の運用・点検整備、災害危険箇所の調査、その他、災害に関すること。

## ▼ 消防庁舎の概要 ▼

所在地	二宮町中里 711-1 番地			
構造	① 鉄筋コンクリート造 2階建	(既存棟)		
	② 鉄骨造 2階建	(増設棟)		
建築面積	① 360.24 m <sup>2</sup>			
	② 345.12 m <sup>2</sup>	計	705.36	m <sup>2</sup>
延面積	① 676.14 m <sup>2</sup>			
	② 536.95 m <sup>2</sup>	計	1,213.09	m <sup>2</sup>
敷地面積	1,394.17 m <sup>2</sup>			
竣工	① 昭和 47 年 1 月 31 日			
	② 平成 10 年 9 月 30 日			

▼ 消防ポンプ車等配置状況 ▼

(平成26年4月1日現在)

種 別	社名 年式	ポンプ 製作所	ポンプ 検 定	規 格			定員	総重量 kg	燃料	総排気量 L	購 入 年月	
				長さ m	幅 m	高さ m						
消 防 署	災害対応特殊 水槽付消防 ポンプ自動車	日野 H23	長野 ポンプ	A 2	7.30	2.35	3.40	6	11,300	軽油	6,403	H24. 1
	普通消防 ポンプ自動車	三菱 H14	モリタ	A 2	5.45	1.88	2.85	5	4,955	軽油	5,240	H14. 2
	救急車 1 (高規格)	日産 H21	—	—	5.64	1.90	2.47	7	3,125	ガソリン	3,490	H21. 3
	救急車 2 (高規格)	イスズ H13	—	—	5.69	2.07	2.74	8	5,180	軽油	4,980	H13. 3
	救助工作車	日野 H18	—	—	7.48	2.30	3.20	6	9,780	軽油	6,400	H18.12
	指 令 車	トヨタ H21	—	—	4.63	1.69	1.86	7	1,885	ガソリン	1,990	H21. 7
	積 載 車	日産H16	—	—	4.67	1.69	2.20	6	3,270	ガソリン	1,990	H16. 7
	広 報 車	ダイハツH20	—	—	3.39	1.47	1.92	4	1,460	ガソリン	650	寄 贈
	小 型 動 力 ポンプ	シバウラ ラビット	芝浦機械 富士ロビン	B 3 B 3	0.74 0.66	0.54 0.58	0.73 0.72	— —	93 88	ガソリン ガソリン	486 635	S63. 7 H12.12
消 防 団	第一 普通消防 ポンプ自動車	イスズ H19	モリタ	A 2	5.83	1.88	2.45	9	4,435	軽油	2,990	H19. 8
	分団 小型動力 ポンプ	ラビット H13	富士 ロビン	B 3	0.66	0.58	0.72	—	88	ガソリン	635	H13. 9
	第二 普通消防 ポンプ自動車	イスズ H17	モリタ	A 2	5.65	1.88	2.45	9	4,075	軽油	4,770	H17.10
	分団 小型動力 ポンプ	ラビット H13	富士 ロビン	B 3	0.66	0.58	0.72	—	88	ガソリン	635	H13. 9
	第三 普通消防 ポンプ自動車	イスズ H15	モリタ	A 2	5.65	1.88	2.45	9	4,085	軽油	4,770	H15.10
	分団 小型動力 ポンプ	ラビット H13	富士 ロビン	B 3	0.66	0.58	0.72	—	88	ガソリン	635	H13. 9
	第四 普通消防 ポンプ自動車	イスズ H10	モリタ	A 2	5.48	1.88	2.40	9	3,975	軽油	4,570	H10.11
	分団 小型動力 ポンプ	ラビット H12	富士 ロビン	B 3	0.66	0.58	0.72	—	88	ガソリン	635	H11.10
	第五 普通消防 ポンプ自動車	イスズ H12	モリタ	A 2	5.48	1.88	2.45	9	4,335	軽油	4,570	H12.12
	分団 小型動力 ポンプ	ラビット H11	富士 ロビン	B 3	0.66	0.58	0.72	—	88	ガソリン	635	H11.10

## ▼ 消防配置図 ▼

管轄区域

〈消防本部・消防署〉  
町内全域

〈第1分団〉  
川匂地区  
山西地区

〈第2分団〉  
上町地区  
中町地区  
下町地区

〈第3分団〉  
上町・中町・下町を除く  
二宮地区及び元町地区  
富士見が丘地区  
松根地区

〈第4分団〉  
中里地区  
百合が丘1丁目地区

〈第5分団〉  
一色  
百合が丘2丁目地区  
百合が丘3丁目地区  
緑が丘地区



## ▼ 平成25年度の主要行事 ▼

- 4月16日 新入団員消防訓練指導  
          (延べ3日間、普通救命講習含む)
- 4月21日
- 5月11日 消防署消防ポンプ性能検査
- 5月12日 消防団消防ポンプ性能検査
- 6月6日 湘南地区消防救助技術訓練会に出場
- 6月20日 神奈川県消防救助技術指導会に出場
- 9月23日 商工会青年部第30回ふれあい広場に協力
- 10月24日 神奈川県消防職団員消防慰霊祭に出席
- 11月10日 にのみやふるさとまつり(消防本部・消防団参加)  
          消防ふれあいコーナー協力(消防車両展示・消火体験)
- 11月9日 秋の火災予防運動(ポスター配布)
- 11月15日
- 11月25日 消防団120周年・自治体消防65周年記念大会に参加
- 12月25日 歳末火災特別警戒実施  
          (特別巡視・28日)
- 12月31日
- 1月12日 消防出初式(二宮町民運動場)
- 3月1日 春の火災予防運動  
          (消防署・消防団合同訓練、ポスター配布)
- 3月7日

## ◇ 消防職員 ◇

### ▼ 消防職員の年齢 ▼

(平成26年4月1日現在)

階級 区分	計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 吏 員	派 遣 職 員
人員合計	46	1	4	8	8	12	10	1	2
18～19才	0								
20～25才	6					2	4		
26～30才	16				1	9	6		
31～35才	4				3	1			
36～40才	5			1	4				
41～45才	5			5					
46～50才	2			1					1
51～55才	2		1						1
56～60才	6	1	3	1				1	
平均年齢	35.0	57.0	55.5	45.1	35.8	27.6	25.3	56.0	49.5

### ▼ 消防職員の勤続年数 ▼

(平成26年4月1日現在)

階級 区分	計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 吏 員	派 遣 職 員
計	46	1	4	8	8	12	10	1	2
0～4年	12					1	10	1	
5～9年	14				3	11			
10～14年	1				1				
15～19年	3				3				
20～24年	7			5	1				1
25～29年	2			2					
30～34年	1								1
35年以上	6	1	4	1					
平均年数	12.6	39.0	37.5	24.6	13.8	6.2	1.0		28.0

### ▼ 消防職員居住地状況 ▼

(平成26年4月1日現在)

居 住 地 名	町 内								町 外							合 計			
	一 色	緑 が 丘	中 里	富 士 見 が 丘	二 宮	山 西	百 合 丘	松 根	小 計	大 磯 町	中 井 町	寒 川 町	小 田 原 市	秦 野 市	平 塚 市		藤 沢 市	茅 ヶ 崎 市	小 計
人員	1	1	3	1	9	7	3		25	3		1	6	5	3	1	2	21	46

## ◇ 消防団 ◇

### ▼ 消防団員の定員と実員数 ▼

(平成26年4月1日現在)

消防団数	分団数	階級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員
		人員							
1	5	定 員	78	1	2	5	5	30	35
		実 員	78	1	2	5	5	30	35

### ▼ 消防団員の内訳とポンプ台数 ▼

(平成26年4月1日現在)

階級・ ポンプ 所属	消 防 団 員 数							ポ ン プ 台 数		
	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	班 長	団 員	計	消防ポンプ 自 動 車	小型動力 ポンプ
計	78	1	2	5	5	30	35	10	5	5
本 部	3	1	2							
第 1 分 団	15			1	1	6	7	2	1	1
第 2 分 団	15			1	1	6	7	2	1	1
第 3 分 団	15			1	1	6	7	2	1	1
第 4 分 団	15			1	1	6	7	2	1	1
第 5 分 団	15			1	1	6	7	2	1	1

### ▼ 消防団員勤続年数 ▼

(平成26年4月1日現在)

階級 年 数	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	班 長	団 員
合 計	78	1	2	5	5	30	35
1 年 未 満	13						13
1 年 ～ 4 年	35					13	22
5 年 ～ 9 年	21				5	16	
10 年 ～ 19 年	8		2	5		1	
20 年 ～ 29 年	1	1					
平均年数	4.4	20.0	16.0	10.6	8.6	5.1	1.1

▼ 消防団員年令 ▼

(平成26年4月1日現在)

階級 年 数	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	班 長	団 員
合 計	78	1	2	5	5	30	35
21才～25才	2						2
26才～30才	3						3
31才～35才	18				1	4	13
36才～40才	23			1		13	9
41才～45才	19			1	2	10	6
46才～50才	10			3	2	3	2
51才～55才	2		2				
56才 以上	1	1					
平 均 年 齢	39.2	59.0	53.5	45.2	41.8	40.1	35.8

▼ 消防団員の職業構成と就業形態 ▼

(平成26年4月1日現在)

計	職 業 構 成													計	就 業 形 態							
	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	熱 電 力 業	運 輸 業	飲 食 業	卸 売 業	金 融 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業		公 務 員	さ れ な い も の	そ の 他	被 用 者	役 員	被 用 者 の あ る 業 主	被 用 者 の な い 業 主	家 族 従 事 者
78				1	11	21	2		4	3	2	14	12	8	78	60	4	2	3	6		3

▼ 団員報酬 ▼

(平成26年4月1日現在)

階級 区 分	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	班 長	団 員
年 額	135,000円	90,000円	49,000円	40,000円	33,000円	33,000円
警 戒 ・ 訓 練 等	一律1,500円					
災 害 出 動	一律3,000円					

▼ 消防職員・団員受賞歴 ▼

団体

受章年度	表 彰 区 分	受章年度	表 彰 区 分
昭和33年度	日本消防協会竿頭綬	昭和57年度	日本消防協会特別表彰「まとい」
昭和37年度	消防庁竿頭綬	昭和62年度	日本消防協会竿頭綬
昭和43年度	日本消防協会表彰旗	平成17年度	神奈川県消防協会竿頭綬
昭和45年度	消防庁表彰旗	平成25年度	日本消防協会竿頭綬
昭和53年度	神奈川県消防操法大会最優秀賞		

個人

受 章 者	表 彰 区 分	受 章 日	受 章 者	表 彰 区 分	受 章 日
原 久雄	木 杯	昭和62年11月3日			
露木 昭治	勲七等瑞宝章	平成7年11月7日			
西山 昇	勲六等瑞宝章	平成10年4月29日			
柳川 駅司	消防庁長官	平成18年3月3日			

# 火災予防

---



## ◇ 火災予防 ◇

### ▼ 火災予防条例に基づく届出状況 ▼

#### (1) 各種届出状況

年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
各種届出			
合 計	39	44	40
炉 設 備			
厨 房 設 備			
温 風 暖 房 機 設 備			
ボ イ ラ ー 設 備	1		
給 湯 湯 沸 設 備			
乾 燥 設 備			
サ ウ ナ 設 備			
ヒートポンプ冷暖房機設備			
火花を生ずる設備			
放 電 加 工 機 設 備			
変 電 設 備	2		1
発 電 設 備	2		
蓄 電 池 設 備			1
ネ オ ン 管 灯 設 備			
火災と紛らわしい行為等	28	36	29
煙火の打上げ、仕掛け等	3	4	2
催 物 の 開 催 等	1	1	2
指 定 洞 道 等			
少量危険物貯蔵・取扱	2	3	5
指定可燃物貯蔵・取扱			

(2) 防火対象物使用開始届出状況

防火対象物の区分		年 中	平成23年	平成24年	平成25年
		合 計	15	19	12
1項	イ	映 画 館			
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場		1	
2項	イ	キ ャ バ レ ー 等			
	ロ	遊 技 場 等			
	ハ	性 風 俗 関 連 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等 個 室 型 店 舗			
3項	イ	料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店 等	2	3	3
4項		店 舗 ・ マ ー ケ ッ ト	1	2	2
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル			
	ロ	共 同 住 宅	4	2	1
6項	イ	病 院 ・ 診 療 所	1	2	
	ロ	福 祉 施 設 等	1		1
	ハ	福 祉 施 設 等	1	1	
	ニ	幼 稚 園 等			
7項		学 校			
8項		図 書 館 等	1		
9項	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場			
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場			
10項		駅 舎	1		
11項		神 社 等			1
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場		1	
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等			
13項	イ	駐 車 場 等			
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫 等			
14項		倉 庫 等			
15項		事 務 所 等	3	7	4
16項	イ	特 定 複 合 用 途			
	ロ	複 合 用 途			
16項の2		地 下 街			
16項の3		16 項 2 以 外 の 地 階			
17項		重 要 文 化 財 等			
18項		ア ー ケ ード			

※ 6項ロに関しては、主として要介護状態にある者を入居させるもの。

※ 6項ハに関しては、主として要介護状態にある者を入居させるものを除く。

▼ 消防用設備等設置届出状況 ▼

防火対象物の区分		年 中	平成23年	平成24年	平成25年
		合 計	21	23	29
1項	イ	映 画 館			
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	2	3	1
2項	イ	キ ャ バ レ ー 等			
	ロ	遊 技 場 等			
	ハ	性 風 俗 関 連 等			
	ニ	カラオケボックス等個室型 店 舗			
3項	イ	料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店 等		1	3
4項		店 舗 ・ マ ー ケ ッ ト	3	5	4
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル			
	ロ	共 同 住 宅	5	2	1
6項	イ	病 院 ・ 診 療 所	1	2	2
	ロ	福 祉 施 設 等	3		1
	ハ	福 祉 施 設 等	1	3	3
	ニ	幼 稚 園 等			
7項		学 校			7
8項		図 書 館 等	1		1
9項	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場			
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場			
10項		駅 舎	1		
11項		神 社 等			1
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場			1
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等			
13項	イ	駐 車 場 等			
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫 等			
14項		倉 庫 等			
15項		事 務 所 等	4	7	2
16項	イ	特 定 複 合 用 途			1
	ロ	複 合 用 途			1
16項の2		地 下 街			
16項の3		16 項 2 以 外 の 地 階			
17項		重 要 文 化 財 等			
18項		ア ー ケ ー ド			

※ 6項ロは、主として要介護状態にある者を入居させる福祉施設

※ 6項ハは、6項ロ以外の福祉施設

▼ 防火管理者届出状況 ▼

(平成26年4月1日現在)

防火対象物の区分		対象物数・届出数	消防法第17条 対象物	消防法第8条 対象物	防火管理者 届出済対象物
合計			725	243	161
1項	イ	映画館			
	ロ	公会堂・集会場	38	18	17
2項	イ	キャバレー等			
	ロ	遊技場等			
	ハ	性風俗関連等			
	ニ	カラオケボックス等個室型 店舗			
3項	イ	料理店等			
	ロ	飲食店等	27	20	13
4項		店舗・マーケット	40	22	16
5項	イ	旅館・ホテル	4	2	1
	ロ	共同住宅	299	40	37
6項	イ	病院・診療所	22	6	4
	ロ	福祉施設等	7	7	7
	ハ	福祉施設等	18	14	13
	ニ	幼稚園等	5	5	5
7項		学校	7	8	7
8項		図書館等	1	1	1
9項	イ	蒸気・熱気浴場			
	ロ	イ以外の公衆浴場			
10項		駅舎			
11項		神社等	20	5	2
12項	イ	工場・作業場	52	8	3
	ロ	映画・スタジオ等	1	1	
13項	イ	駐車場等			
	ロ	飛行機の格納庫等			
14項		倉庫等	8	1	
15項		事務所等	68	41	21
16項	イ	特定複合用途	67	37	13
	ロ	複合用途	41	7	1
16項の2		地下街			
16項の3		16項2以外の地階			
17項		重要文化財等			
18項		アーケード			

※ 6項ロは、主として要介護状態にある者を入居させる福祉施設

※ 6項ハは、6項ロ以外の福祉施設

▼ 中高層建築物一覧表 ▼

(平成26年4月1日現在)

防火対象物の区分		階 数	3階・4階	5階	6階	7階	8階
		合 計	110	31	3		1
1項	イ	映 画 館					
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	3				
2項	イ	キ ャ バ レ ー 等					
	ロ	遊 技 場 等					
	ハ	性 風 俗 関 連 等					
	ニ	カラオケボックス等個室型 店 舗					
3項	イ	料 理 店 等					
	ロ	飲 食 店 等	4				
4項		店 舗 ・ マ ー ケ ッ ト	5				
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	1				
	ロ	共 同 住 宅	21	29	3		1
6項	イ	病 院 ・ 診 療 所	5				
	ロ	福 祉 施 設 等	3				
	ハ	福 祉 施 設 等	5				
	ニ	幼 稚 園 等					
7項		学 校	12	1			
8項		図 書 館 等					
9項	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場					
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場					
10項		駅 舎					
11項		神 社 等					
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場	2				
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等					
13項	イ	駐 車 場 等					
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫 等					
14項		倉 庫 等	1				
15項		事 務 所 等	17				
16項	イ	特 定 複 合 用 途	16				
	ロ	複 合 用 途	15	1			
17項		重 要 文 化 財 等					

※ 6項ロは、主として要介護状態にある者を入居させる福祉施設

※ 6項ハは、6項ロ以外の福祉施設

▼ 用途別の消防同意処理状況 ▼

用途別			年度・件数・面積		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
			件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡		
合 計			101	25,184.54	74	12,944.55	94	18,075.48		
1項	イ	映 画 館								
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	1	477.00						
2項	イ	キ ャ バ レ ー 等								
	ロ	遊 技 場 等								
	ハ	性 風 俗 関 連 等								
	ニ	カラオケボックス等個室型店舗								
3項	イ	料 理 店 等								
	ロ	飲 食 店 等			1	476.01				
4項		店 舗 ・ マ ー ケ ッ ト	3	2,709.95	1	393.21				
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル								
	ロ	共 同 住 宅	4	1,083.01			5	2,651.07		
6項	イ	病 院 ・ 診 療 所	1	1,136.02			2	700.86		
	ロ	福 祉 施 設 等								
	ハ	福 祉 施 設 等	2	307.75						
	ニ	幼 稚 園 等								
7項		学 校								
8項		図 書 館 等	1	967.54						
9項	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場								
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場								
10項		駅 舎					5	150.59		
11項		神 社 等	1	177.77	1	193.44				
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場			1	12.15	2	621.77		
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等								
13項	イ	駐 車 場 等			1	20.82				
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫 等								
14項		倉 庫 等			1	181.74				
15項		事 務 所 等	2	3,141.50	1	42.00	1	189.00		
16項	イ	特 定 複 合 用 途								
	ロ	複 合 用 途								
17項		重 要 文 化 財 等								
18項		ア ー ケ ー ド								
専 用		住 宅	86	15,184.00	67	11,625.18	79	13,762.19		

## ◇ 危険物 ◇

### ▼ 危険物製造所等の区別設置件数の推移 ▼

区 分		年 度			
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
総 数		21	19	19	
製 造 所					
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1	1	1	
	屋外タンク貯蔵所	1	1	1	
	屋内タンク貯蔵所				
	地下タンク貯蔵所	9	8	8	
	簡易タンク貯蔵所				
	移動タンク貯蔵所	1	1	1	
	屋 外 貯 蔵 所				
取 扱 所	給油取扱所	営 業	2	2	2
		自 家			
	販売取扱所	第 1 種			
		第 2 種			
	一 般 取 扱 所	7	6	6	

### ▼ 危険物製造所等における危険物の貯蔵及び取扱量 ▼

(平成26年4月1日現在)

区 分		施 設 数						
		合計 (件)	第1類 (L)	第2類 (L)	第3類 (L)	第4類 (L)	第5類 (L)	第6類 (L)
製造所等の別								
合 計		19				224,420		
製 造 所								
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1				2,400		
	屋外タンク貯蔵所	1				1,900		
	屋内タンク貯蔵所							
	地下タンク貯蔵所	8				40,400		
	簡易タンク貯蔵所							
	移動タンク貯蔵所	1				2,000		
	屋 外 貯 蔵 所							
取 扱 所	給油取扱所	営 業	2			140,000		
		自 家						
	販売取扱所	第 1 種						
		第 2 種						
	一 般 取 扱 所	6				37,720		

▼ 倍数別危険物製造所等の設置状況 ▼

(平成26年4月1日現在)

製造所等の別		合計	倍 数 の 別						
			五倍以下	五倍を超え 十倍以下	十倍を超え 五十倍以下	五十倍を超え 百倍以下	百倍を超え 百五十倍以下	百五十倍を超え 二百倍以下	二百倍を超え 五千倍以下
合 計		19	10	4	2		1	1	1
製 造 所									
貯蔵所	屋内貯蔵所	1	1						
	屋外タンク貯蔵所	1	1						
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所	8	4	1	2		1		
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	1	1						
	屋外貯蔵所								
取扱所	給油取扱所	営 業	2					1	1
		自 家							
	販売取扱所	第 1 種							
		第 2 種							
	一 般 取 扱 所	6	3	3					

▼ 危険物製造所等に係る申請及び届出の状況 ▼

(平成25年度中)

製造所等の別		許 可		完 成		水張 水圧 検査	廃止届	仮使用	仮貯蔵 ・ 取 扱
		設置	変更	設置	変更				
合 計			1		1	8			
製 造 所						8			
貯蔵所	屋内貯蔵所		1		1				
	屋外タンク貯蔵所								
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所								
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所								
	屋外貯蔵所								
取扱所	給油取扱所	営 業							
		自 家							
	販売取扱所	第 1 種							
		第 2 種							
	一 般 取 扱 所								



## ◇ 査 察 ◇

### (1) 危険物製造所等に対する査察等の実施状況

(平成25年中)

実施件数 区分	製造所等の総数	査察実施数	完成検査 実施数	指 導 件 数	是正件数
合 計	19	19	1	2	1
製 造 所					
屋 内 貯 蔵 所	1	1	1		
屋外タンク貯蔵所	1	1			
屋内タンク貯蔵所					
地下タンク貯蔵所	8	8			
簡易タンク貯蔵所					
移動タンク貯蔵所	1	1			
屋 外 貯 蔵 所					
給 油 取 扱 所	2	2			
第1種販売取扱所					
第2種販売取扱所					
一 般 取 扱 所	6	6		2	1

## (2) 防火対象物に対する査察実施状況

(平成25年中)

防火対象物の区分		項目	防火対象物数	査察実施数	指導件数	是正件数
合計			725	31	11	10
1項	イ	映画館				
	ロ	公会堂・集会場	38	2	1	1
2項	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	性風俗関連等				
	ニ	カラオケボックス等個室型店舗				
3項	イ	料理店等				
	ロ	飲食店等	27	2	1	1
4項		店舗・マーケット	40	5	2	1
5項	イ	旅館・ホテル	4			
	ロ	共同住宅	299			
6項	イ	病院・診療所	22	2	1	1
	ロ	福祉施設等	7	5	2	2
	ハ	福祉施設等	18	10		
	ニ	幼稚園等	5	1		
7項		学校	7			
8項		図書館等	1			
9項	イ	蒸気・熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10項		駅舎				
11項		神社等	20			
12項	イ	工場・作業場	52			
	ロ	映画・スタジオ等	1			
13項	イ	駐車場等				
	ロ	飛行機の格納庫等				
14項		倉庫等	8			
15項		事務所等	68	3	3	3
16項	イ	特定複合用途	67	1	1	1
	ロ	複合用途	41			

※ 6項ロは、主として要介護状態にある者を入居させる福祉施設

※ 6項ハは、6項ロ以外の福祉施設

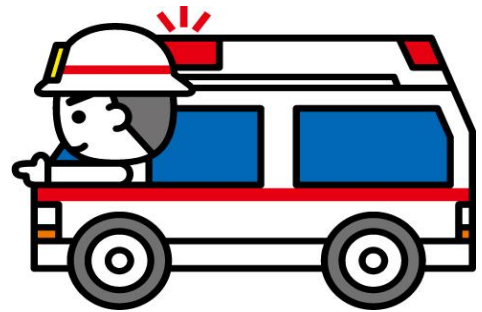
(3) 消防用設備等に対する完成検査実施状況

(平成25年中)

消防用設備等	項目	設置届等	検査
合計		53	45
消火器		11	10
屋内消火栓		6	6
スプリンクラー設備		1	1
水噴霧消火設備			
屋外消火栓設備			
自動火災報知設備		12	8
ガス漏れ火災警報器			
漏電火災警報器			
消防機関へ通報する 火災報知設備		1	1
非常警報設備		4	4
避難器具		2	2
誘導灯		16	13
連結散水栓設備			
連結送水管設備			
非常電源			

# 消防の活動

---



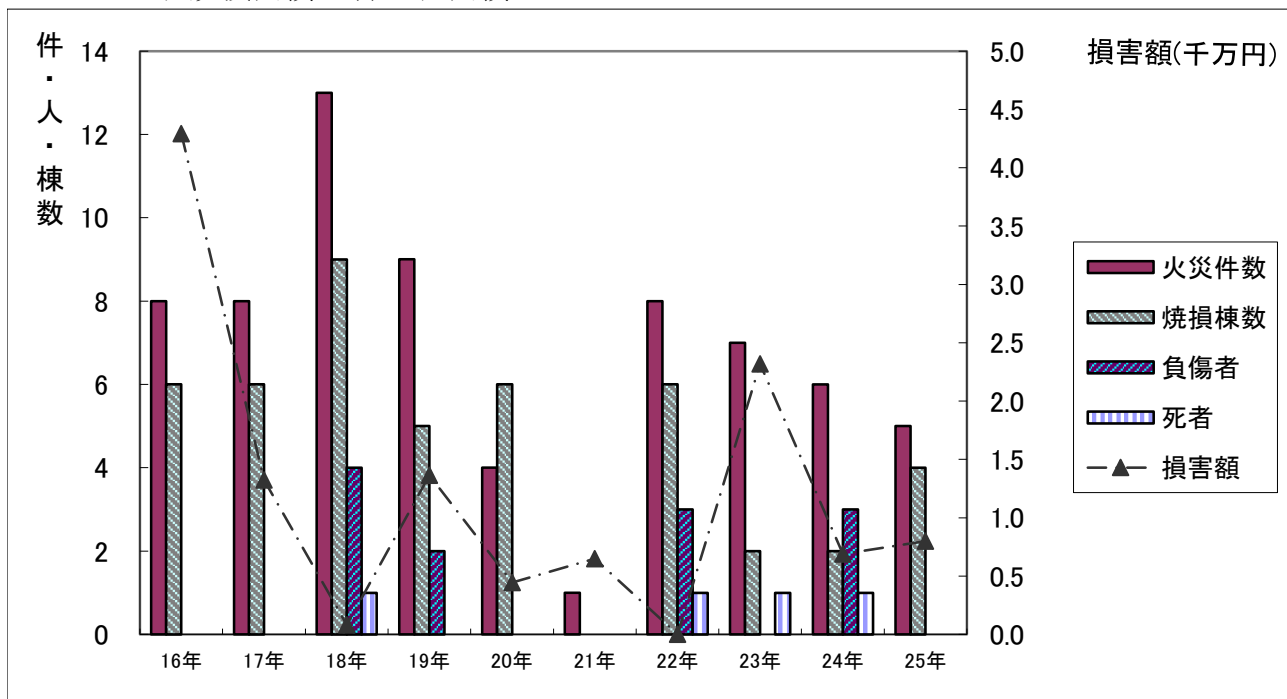
## ◇ 火災概要 ◇

### ▼火災の発生状況(過去10年間)▼

平成25年中の火災発生件数は5件で、建物火災が4件、その他火災が1件です。建物火災は4件ともぼや火災で、3件は事後に連絡があったものです。大規模な火災はありませんでしたが、警備会社からの通報により未然に防げた火災や、住宅火災警報器の発報を近所の方が通報していただいたことによる警戒出場が7件ありました。今後も火災の発生を抑制するため、住民への防火・防災意識の更なる普及啓発と発生した場合への備えとして、消防職員・消防団員の技術・知識等の向上及び情報共有を図っていきます。

区分 年中	火災種別							死 者	負 傷 者	り り 災 災 世 人 帯 員	損 害 額 合 計 (千円)	損 害 額		焼 損 棟 数	建 物 焼 損 面 積 (㎡)
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他					建 物 火 災	建 の 物 以 外 火 災		
平成 16年	8	5	1				2		4	14	13,248	13,248		6	54(5)
〃 17年	8	6		1			1		3	6	826	447	379	6	12(3)
〃 18年	13	9					4	1	4	6	13,641	13,635	6	9	349(2)
〃 19年	9	5		2			2	2	3	7	4,461	4,421	40	5	69(1)
〃 20年	4	4							6	13	7,861	6,191	1,670	6	132(60)
〃 21年	1			1							6		6		
〃 22年	8	8					1	3	5	18	23,204	23,204		6	454(17)
〃 23年	7	2		3			2	1	2	4	6,925	6,630	295	2	106
〃 24年	6	2		2			2	1	3	2	7,996	5,478	2,518	2	100(116)
〃 25年	5	4					1		3	5	101	101		4	4

※建物焼損面積の( )は表面積



▼月別火災発生状況▼

(平成25年中)

区分		月	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
火災種別	建物		4	2	1										1	
	林野															
	車両															
	その他		1				1									
原因大別	失火		4	1	1		1								1	
	放火・疑い															
	不明		1	1												
	その他															
死傷者	死者															
	負傷者															
建物	焼損棟数	火全焼														
		元半焼														
		部分焼	1	1												
		ぼや	3	1	1										1	
	棟焼	全焼														
		半焼														
		部分焼														
	火災世帯	棟ぼや														
		り全損														
		災半損														
小損		3	2	1												
火災	計	3	2	1												
	り災者数	5	3	2												
火災	焼損面積(m <sup>2</sup> )	全焼														
		半焼														
		部分焼	4	4												
		ぼや														
火災	計	4	4													
	林野焼損面積(a)															
車両(台数)																
その他焼損面積(m <sup>2</sup> )		127				127										
損害見積額	家建物	52	52													
	屋収容物	49	1												48	
	林野															
	車両															
	計(千円)	101	53												48	

◇ 消防隊の出場状況(火災、救急出動は除く) ◇

▼ 月別救助出場状況 ▼

(平成25年中)

区分		月	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
救助事例	交通事故		4		1	2		1							
	救助者		10		3	6		1							
	その他		15	2	1	1	2		1	2	1	3	2		
	救助者		13	2	1	1	2		1	2	1	2	1		
	合計		19	2	2	3	2	1	1	2	1	3	2		
	救助者計		23	2	4	7	2	1	1	2	1	2	1		
傷病者情報	死亡		2			1							1		
	重症		2	1		1									
	中等症		8			4		1	1	1		1			
	軽症		2			1					1				
	合計		14	1		6	1	1	1	1	1	1	1		

▼ 月別警戒出場状況 ▼

(平成25年中)

区分		月	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種別	火災警戒		10		1	2						3	1	2	1
	危険排除		10			1		1	3		1	2	1	1	
	その他		16		2	1	2	1		1		3	4	1	1
	合計		36		3	4	2	2	3	1	1	8	6	4	2

▼ 月別救急支援出場状況 ▼

(平成25年中)

区分		月	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種別	Drへり支援		10			2	1	1	1	3	1			1	
	交通事故支援		17	1	1	2	3		1	2	1	2	1	1	2
	CPA搬送支援		62	5	8	6	3	10	1	2	6	2	8	7	4
	その他		79	15	16	7	11	4	4	4	2	4	3	4	5
	合計		168	21	25	17	18	15	7	11	10	8	12	13	11

▼ 月別応援火災出場状況 ▼

(平成25年中)

区分		月	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大磯管内			5	1		3		1							
小田原管内			3				1			1				1	
平塚管内															
合計			8	1		3	1	1		1				1	

## ◇ 救 急 ◇

### ▼救急出場件数推移▼

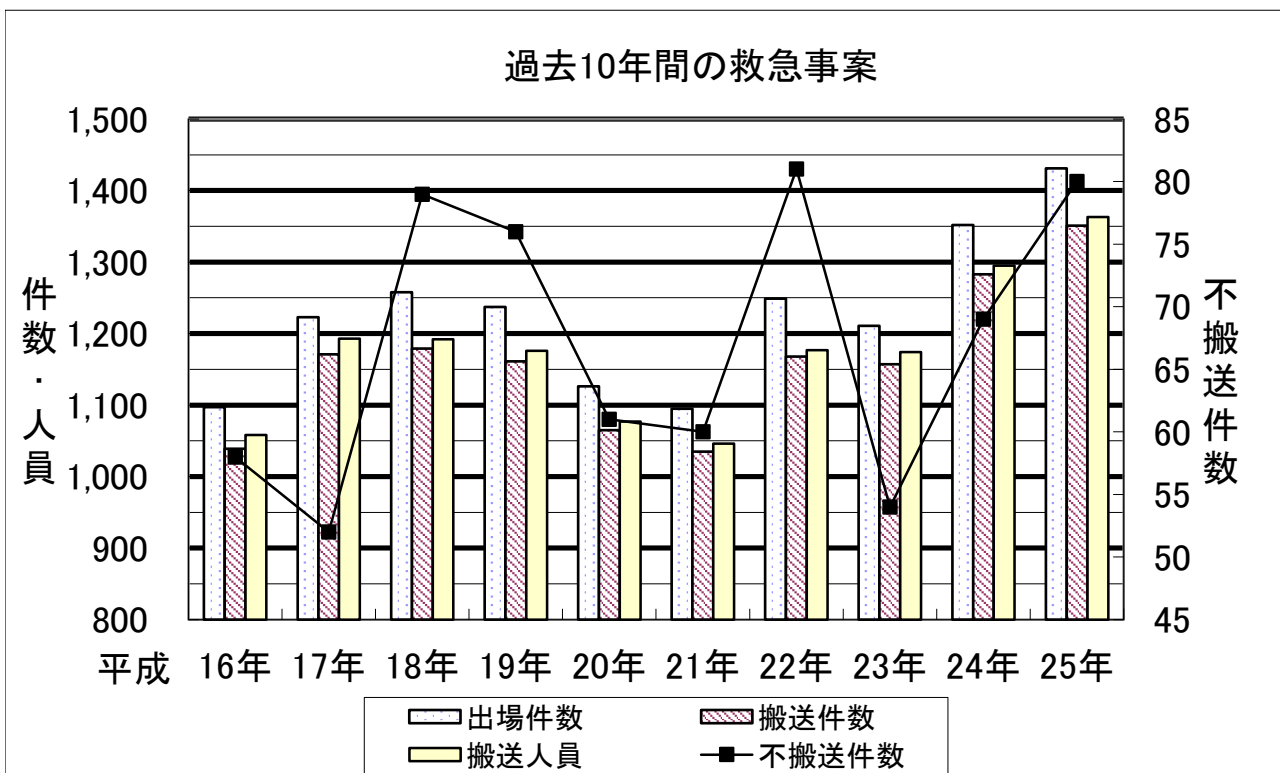
平成25年中の救急出動件数は1,431件で、1日平均では3.92件、搬送人員については1,363人でした。

出動件数・搬送人員ともに過去最多で、昨年より出動件数が79件増加しました。救急出動における高齢者の割合は67%で、今後も救急需要の増加が見込まれます。

救急要請が重なり、2台目の救急車が出動した件数は209件で、2台とも出動中に救急要請があり近隣消防に応援出動を要請した件数は12件でした。

搬送した傷病者の内訳についてはおおむね、軽症38%、中等症50%、重症10%、死亡3%でした。

年	区分	出場件数	搬送件数	搬送人員	不搬送件数	一日平均
平成	16年	1,097	1,039	1,058	58	3.01
〃	17年	1,223	1,171	1,193	52	3.35
〃	18年	1,258	1,179	1,192	79	3.45
〃	19年	1,237	1,161	1,176	76	3.39
〃	20年	1,126	1,065	1,077	61	3.08
〃	21年	1,095	1,035	1,046	60	3.00
〃	22年	1,249	1,168	1,177	81	3.42
〃	23年	1,211	1,157	1,174	54	3.32
〃	24年	1,352	1,283	1,295	69	3.70
〃	25年	1,431	1,351	1,363	80	3.92





▼月別救急活動状況▼

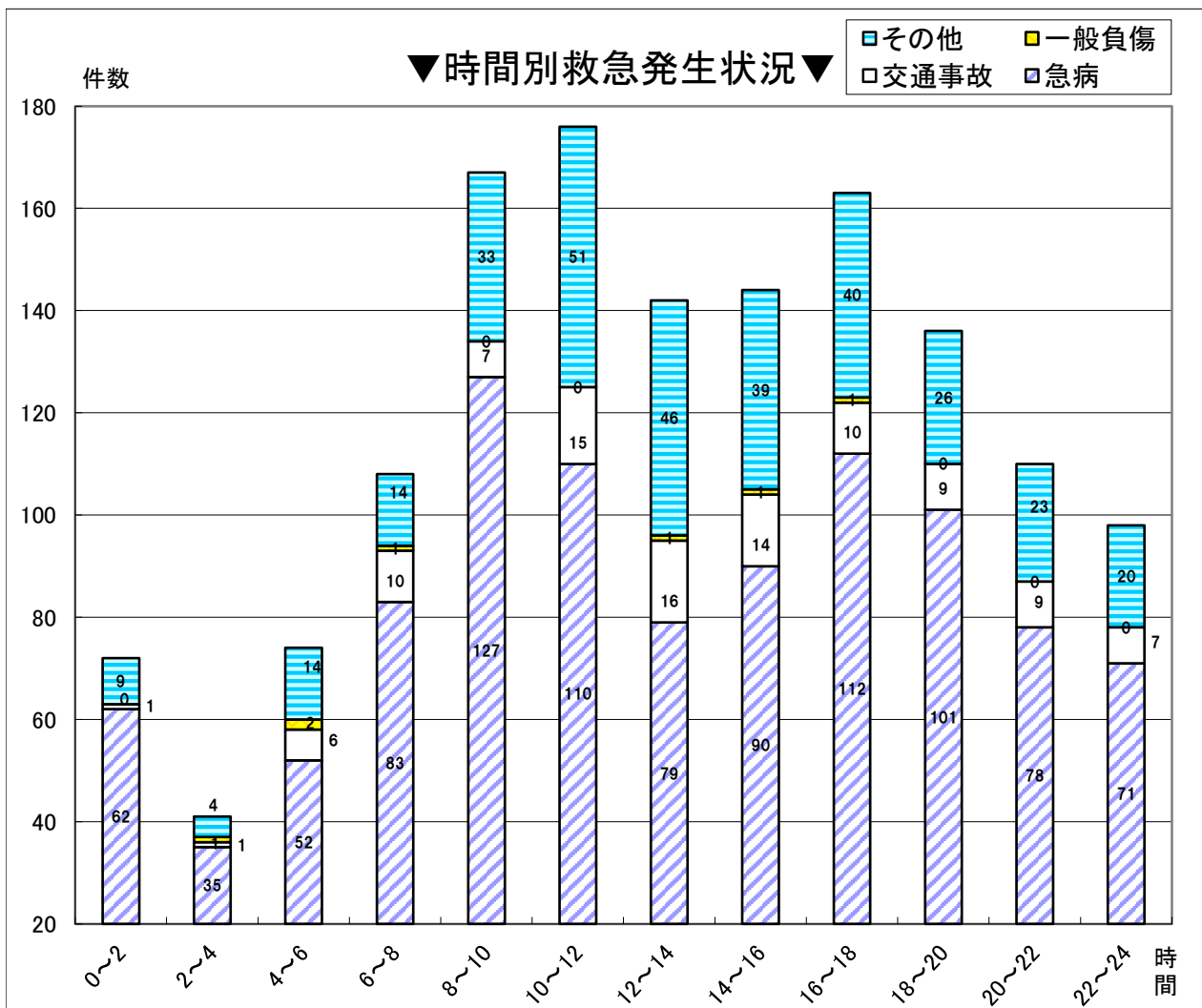
(平成25年中)

事故種別 区分		合 計	一 日 平 均	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合計	出場件数	1,431	3.9			3	105	12	9	234	7	11	1,000	50
	搬送人員	1,363	3.7				111	12	9	224	7	10	955	35
	不搬送件数	80	0.2			3	5			10	1	1	45	15
1月	出場件数	128	4.1				7		1	25			92	3
	搬送人員	123	4.0				7		1	24			89	2
	不搬送件数	5	0.2							1			3	1
2月	出場件数	139	4.8				5			26		1	102	5
	搬送人員	131	4.5				4			23		1	99	4
	不搬送件数	9	0.3				1			3			3	2
3月	出場件数	138	4.5				15			19		1	96	7
	搬送人員	130	4.2				14			19		1	91	5
	不搬送件数	8	0.3				1						5	2
4月	出場件数	89	3.0			1	6			18	2	1	58	3
	搬送人員	84	2.8				6			18	3		55	2
	不搬送件数	6	0.2			1						1	3	1
5月	出場件数	99	3.2				7	5	2	16		1	63	5
	搬送人員	93	3.0				7	5	2	15		1	60	3
	不搬送件数	8	0.3				1			1			4	2
6月	出場件数	108	3.6				6			19	1	1	77	4
	搬送人員	109	3.6				10			19	1	1	75	3
	不搬送件数	2	0.1										1	1
7月	出場件数	132	4.3				7	1	2	30	1		86	5
	搬送人員	125	4.0				7	1	2	28	1		82	4
	不搬送件数	6	0.2							2			4	
8月	出場件数	116	3.7				11			12	1	2	88	2
	搬送人員	106	3.4				9			11	1	2	81	2
	不搬送件数	10	0.3				2			1			7	
9月	出場件数	118	3.9				14	1	1	15	1	2	80	4
	搬送人員	117	3.9				17	1	1	15		2	79	2
	不搬送件数	4	0.1								1		1	2
10月	出場件数	113	3.6			2	11	1		14		1	81	3
	搬送人員	108	3.5				13	1		14		1	78	1
	不搬送件数	7	0.2			2							3	2
11月	出場件数	133	4.4				8	1	2	15	1	1	100	5
	搬送人員	125	4.2				8	1	2	15	1	1	92	5
	不搬送件数	8	0.3										8	
12月	出場件数	118	3.8				8	3	1	25			77	4
	搬送人員	112	3.6				9	3	1	23			74	2
	不搬送件数	7	0.2							2			3	2

▼曜日別救急発生状況▼

(平成25年中)

曜日別 事故別	合計	火災 事故	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害 事故	自損 行為	急病	その他
合計	1,431			3	105	12	9	234	7	11	1,000	50
月	210				15	2		33	2	3	144	11
火	227				20	3	1	31	1		160	11
水	194			1	13	3		34	1	1	135	6
木	189			1	14	1		42	2	3	122	4
金	200				19	1	2	33		1	135	9
土	190				11	1	4	31		1	136	6
日	221			1	13	1	2	30	1	2	168	3



▼事故種別不搬送件数▼

(平成25年中)

種別 \ 理由	合計	緊な 急 性し	傷な 病 者し	拒 否	酩 酊	死 亡	現 場 処 置	誤 い た ず 報 ら	そ の 他
合計	80	18	8	28	6	14		3	3
急病	45	11	1	20		12			1
交通事故	5		1	4					
一般負傷	10	5	1	2	2				
その他	20	2	5	2	4	2		3	2

▼地区別出場件数▼

(平成25年中)

地区	合計	二宮	山西	中里	百合が丘	一色	富士見が丘	緑が丘	川匂	松根	その他
件数	1,431	436	248	174	216	85	128	66	46	15	17

▼覚知別出場件数▼

《覚知別発生状況》

(平成25年中)

種別	合計	専用(119)	携帯(119)	加入電話	駆け込み	携帯(転送)	シルバー	公団専用	消防無線	その他
件数	1,431	901	252	144	96	25	3	2	5	3

▼交通事故の道路別出場件数▼

《交通事故の道路別出場状況》

(平成25年中)

道路別	合計	国道 1号線	県道	小田原 厚木道路	西湘 バイパス	その他 (町道含む)
件数	105	17	20	6	2	60

▼所要時間別出場件数と搬送人員▼

(平成25年中)

時間経過 事故種別	合計 件数	現場到着所要時間(覚知から現場到着)					病院収容時間(覚知から病院到着)				
		0分 ～ 3分	3分 ～ 5分	5分 ～ 10分	10分 ～ 20分	20分 以上	搬 送 人 合計	0分 ～ 20分	20分 ～ 30分	30分 ～ 60分	60分 以上
計	1,431	11	200	1,119	92	9	1,363	2	442	888	31
急病	1,000	10	129	795	62	4	955	1	318	615	21
交通事故	105		25	67	10	3	111		35	69	7
一般負傷	234	1	25	194	13	1	225	1	65	159	
その他	92		21	63	7	1	72		24	45	3

※ 現場到着に時間を要している事案は、救急出場中の要請及び町外(自動車専用道路の応援等)に出場していたためです。

▼傷病程度と年齢別搬送人員▼

(平成25年中)

区分 事故種別	年 齢 区 分						傷 病 程 度					
	合 計	新 生 児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	合 計	死 亡	重 篤	重 症	中 等 症	軽 症
合 計	1,363		50	49	354	910	1,363	42	41	90	676	514
急 病	955		33	20	227	675	955	39	37	57	517	305
交通事故	111		6	11	63	31	111	1		7	43	60
一般負傷	224		11	9	36	168	224		1	8	84	131
その他	73			9	28	36	73	2	3	18	32	18

その他は、火災・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・自然災害事故等含む。

「年齢内訳」

新生児＝	～生後28日
乳幼児＝	生後29日～満7才未満
少年＝	満7才～満18才未満
成人＝	満18才～65才未満
高齢者＝	満65才以上

「傷病内訳」

(平成25年中)

程 度	内 容	男 性	女 性
死 亡	初診時に死亡確認	20	22
重 篤	もつとも重い症状	24	17
重 症	入院3週間以上	53	37
中 等 症	入院を要し重症に至らない	328	348
軽 症	入院を必要としない	273	241
合 計		698	665

▼応急処置等実施状況▼

(平成25年中)

区分	事故種別	急 病	交通事故	一般負傷	その他	計
応急処置等対象人員		954	111	222	72	1,359
応 急 処 置 合 計		3,932	471	882	321	5,606
処 置	止 血 ( 止 血 帯 等 )	7	8	33	7	55
	固定(副子等・頸部・全身)	11	79	61	16	167
	人工呼吸	40	1		5	46
	心マッサージ	3			1	4
	心 肺 蘇 生	44	1	1	3	49
	酸 素 吸 入	294	13	17	27	351
	気 道 確 保	78	1	1	5	85
	経 鼻 エ ア ウ ェ イ	20			3	23
	咽 頭 鏡 ・ 鉗 子 等	2				2
	特定行為(LM等・気管内挿管)	34			1	35
	保 温	103	10	34	6	153
	被 覆	9	28	64	11	112
	在 宅 療 法 継 続	13		2		15
件 数	ショックパンツによる血圧保持					
	除 細 動 ( 包 括 的 )	4				4
	静 脈 路 確 保 ( 特 定 行 為 )	26			1	27
	薬 剤 投 与	24			2	26
	その他の応急処置	73		1	4	78
	血 圧 測 定	884	105	215	68	1,272
	聴 診 器 による聴取	847	100	179	57	1,183
	血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定	905	105	220	68	1,298
	心 電 図	591	20	54	42	707

## ▼応急手当普及講習会実施状況▼

平成7年度から実施してきた応急手当等の講習会は、平成26年4月1日現在で普通救命講習受講者が4,111名となり、年度の普通救命講習会開催回数は37回で、398名が受講し修了書を取得され、再講習者は87名でした。上級救命講習は2回開催し24名の方が修了書を取得し、2名は再受講されました。救命率の向上を図るため、多くの方々に講習へ参加して頂きました。また、自動体外式除細動器(AED)も町内の公共施設をはじめ、一般企業や事業所等にも設置されるようになり、HPにて随時公表しております。

(平成25年度)

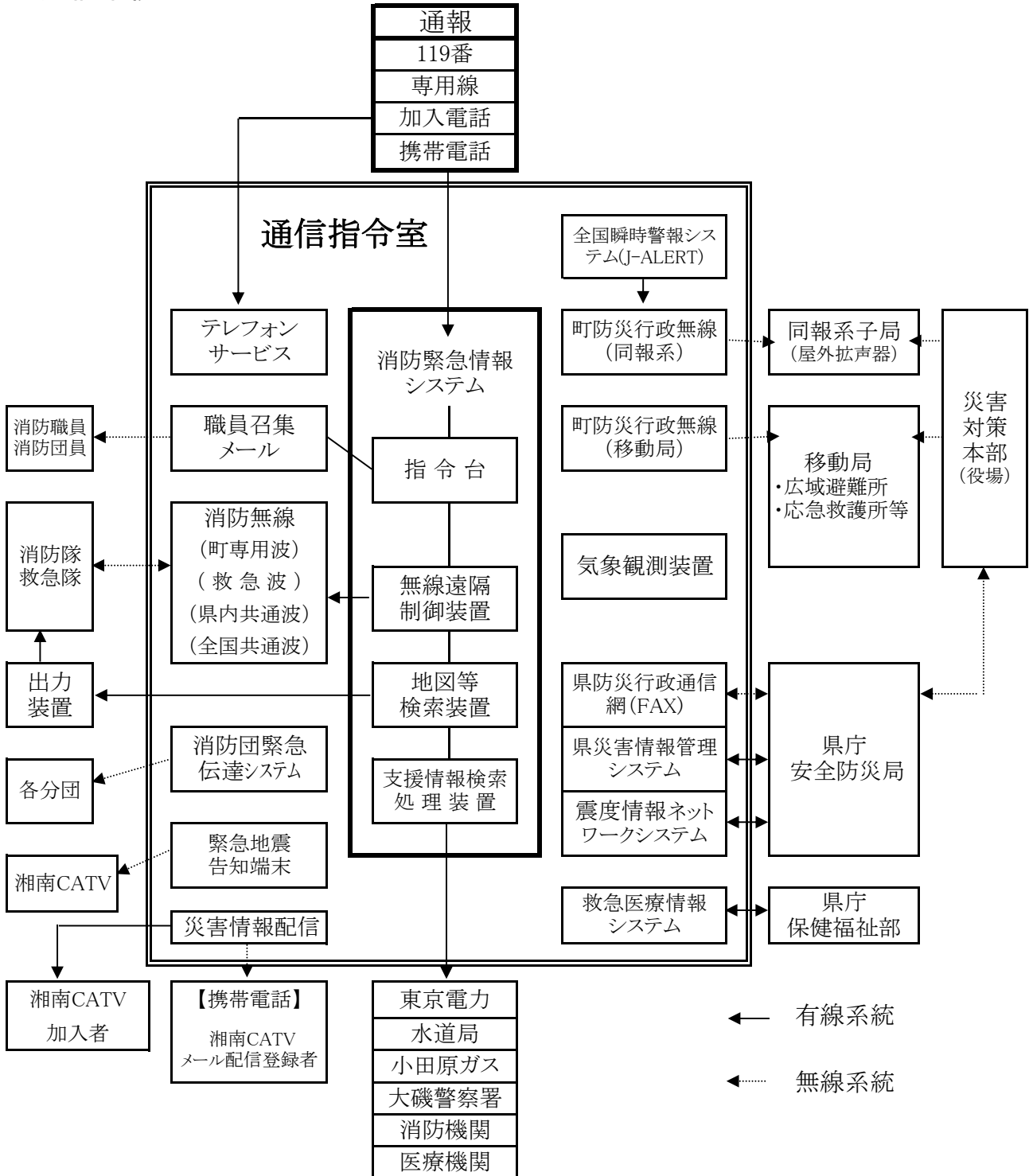
番号	講習月日	講習会区分	受講者区分	受講者	修了者	再講習者
1	4月9日	普通救命講習	二宮町役場新人職員	4	3	1
2	4月21日	普通救命講習	二宮町新人消防団員	8	8	
3	5月14日	普通救命講習	二宮学童指導会	16	11	5
4	6月17日	普通救命講習:再講習	二宮町役場体育施設職員	10		10
5	6月29日	普通救命講習	二宮町温水プール指導員	13	8	5
6	7月3日	普通救命講習	湘南二宮・ふるさと炭焼会	13	12	1
7	7月22日	普通救命講習	二宮町教育委員会	19	5	14
8	7月27日	普通救命講習	二宮町危険物安全協会	3	2	1
9	7月30日	普通救命講習	二宮町立西中学校	21	21	
10	8月1日	普通救命講習	二宮町立西中学校	23	22	1
11	8月2日	普通救命講習	二宮町立西中学校	23	23	
12	8月3日	その他の講習	二宮町危険物安全協会	4	4	
13	8月5日	普通救命講習	二宮町教育委員会	12	5	7
14	8月6日	普通救命講習	二宮町立西中学校	12	12	
15	8月7日	普通救命講習	二宮町立西中学校	23	23	
16	8月8日	普通救命講習	二宮町立二宮中学校	21	21	
17	8月9日	普通救命講習	二宮町立二宮中学校	20	20	
18	8月12日	普通救命講習	二宮町立二宮中学校	20	20	
19	8月19日	普通救命講習	二宮町教育委員会	19	6	13
20	8月20日	普通救命講習	二宮町立二宮中学校	21	20	1
21	8月21日	普通救命講習	二宮町立西中学校	18	18	
22	8月22日	普通救命講習	二宮町立二宮中学校	14	13	1
23	8月23日	普通救命講習	二宮町立二宮中学校	20	20	
24	8月27日	普通救命講習	二宮町立二宮中学校	11	11	
25	9月8日	上級救命講習	二宮町町民(一般募集)	15	15	
26	9月17日	普通救命講習	健康つくり復仇協議会	13	5	8
27	10月22日	普通救命講習	百合ヶ丘地区自主防災会	15	15	
28	12月2日	普通救命講習	心泉学園職員	13	12	1
29	12月13日	普通救命講習	小田原市立橋中学校	3	2	1
30	12月14日	普通救命講習	青少年連絡協議会指導員	16	5	11
31	1月17日	普通救命講習	二宮町町民(一般募集)	11	11	
32	1月28日	普通救命講習	星槎学園湘南校生徒	15	15	
33	1月31日	普通救命講習	星槎学園湘南校生徒	17	17	
34	2月2日	上級救命講習	二宮町町民(一般募集)	11	9	2
35	2月21日	普通救命講習:再講習	二宮町町民(一般募集)	1		1
36	2月23日	普通救命講習	福祉施設・はなの杜	14	10	4
37	3月20日	普通救命講習	二宮町町民(一般募集)	3	2	1
合計				515人	普通 398人 上級 24人	87人 2人

- ※ 上級救命講習修了者数 252名(平成26年3月末現在)
- ※ 普通救命講習修了者数 4111名(平成26年3月末現在)
- ※ 普通救命講習再受講者数 87名(平成25年度)
- ※ 上級救命講習再受講者数2名(平成25年度)

# ◇ 通信 ◇

通信指令室は消防活動の要であり、指令台を中心に火災報知専用電話(119番)のほか数多くの通信情報システムが配備され、災害出動指令や消防関係通信業務に24時間体制で職員が従事しています。

## ▼通信系統図▼



## ◇ 災害出動体制 ◇

各種災害通報は、火災報知専用電話(119番)等を通じて、すべて消防署通信指令室で受信します。通報を受けた指令員は、隊員に出動指令をかけ、状況により車両・資機材を選択した消防隊等が災害現場に急行します。また、災害の状況に応じて消防団を召集し、各関係機関に連絡しています。平成23年度には緊急消防援助隊用車両として、被災地でも十分な能力を発揮することができる災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車を提供しました。

消防本部・消防署

水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	救助工作車	積載車	高規格救急自動車×2	指令車	広報車	可搬ポンプ×2
-------------	----------	-------	-----	------------	-----	-----	---------

消防団

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団
消防ポンプ自動車 可搬ポンプ	消防ポンプ自動車 可搬ポンプ	消防ポンプ自動車 可搬ポンプ	消防ポンプ自動車 可搬ポンプ	消防ポンプ自動車 可搬ポンプ

## ▼ 救助出動体制 ▼

火災や交通事故、労働災害等の複雑化する都市災害から人命を守るため、救助工作車(平成18年度)を配備し、あらゆる災害に対処できるように訓練に臨んでいます。

救助資機材等

資機材名	数量	資機材名	数量	資機材名	数量
クレーン2.9t(車載式)	1	救命胴衣	10	耐電衣(一式)	3
ウインチ(車載式)	1	救命浮環	1	化学防護服(一式)	5
照明装置(車載式)	1	山岳救助器具一式	1	救助帯・安全帯	7
超高圧消火装置	1	送排風機	1	インパルス銃	1
油圧救助器具一式	1	エンジンカッター	2	フォグガン	1
削岩機	1	チェーンソー	2	簡易画像探索器(ホーカーカメラ)	1
発動発電機	1	単梯子(カギ付)	2	マルチガス測定器	1
空気式救助マット	2	三連梯子	3	防毒マスク	5
酸素切断機	1	バスケット型担架	1	携帯警報機(スーパースペース)	5
空気呼吸器	14	個人線量計	5	ガンマ線及びエックス線用線量率計	1

### ▼水防(自然災害)出動と体制 ▼

二宮町は、比較的大きな河川がなく、過去に水害による大規模な被害を受けたことはありませんが、集中豪雨や台風の際には河川の氾濫・道路冠水・土砂災害等の被害が発生する恐れがあります。このため、降雨時は雨量の把握に努め、早期に警戒体制を強化しています。

(平成25年中)

気象状況	回数	活動内容
大雨警報	19	情報収集等及び町内巡回
洪水警報	13	情報収集等及び町内巡回
気象に伴う活動	14	危険排除及び町内調査活動

水防資材(消防本部管理分)

(平成26年4月1日現在)

品名	数量	品名	数量	品名	数量
一輪車	3台	スコップ	40丁	土のう袋	9,000枚
水中ポンプ	1基	土のう用止め杭	460本	緊急用土のう袋	250枚
のこぎり	6丁	防水シート	68枚	ロープ	400M
カケヤ	10丁	大ハンマー	5丁		

### ▼緊急消防援助隊 ▼

緊急消防援助隊は、消防組織法第44条の規定に基づき、災害等による緊急時に消防の応援等を行うことを任務としています。

平成23年3月11日(金)に発災した東日本大震災では、当消防本部においても神奈川県隊として職員を派遣しました。いつ起こるか分からない地震や災害に対して備蓄品の更新や資機材の点検・習熟訓練に励んでいます。

### ▼消防相互応援協定 ▼

消防相互応援協定は、消防組織法第39条の規定に基づき、大災害等が発生した際に相互の消防力を補い、被害の軽減を図っています。この協定は、全国、県下、隣接市町などで締結され、航空応援・特別応援・通常応援等に区分されています。

《応援出場状況》

(平成25年中)

応援市町	区分	合計		小田原市		大磯町		その他	
		応援	受援	応援	受援	応援	受援	応援	受援
出場回数	火災出場	9	1	3		6	1		
	救急出場	20	8	5	4	15	4		
	救助出動		2		1				1

被災市町からの要請が無い場合でも、互いに協力し出場する区域は次のとおりです。

《通常応援出場区域》

二宮町	平塚市
平塚市のうち土屋	二宮町のうち一色
二宮町	大磯町
大磯町全域	二宮町全域



二 宮 町	小 田 原 市
小田原市のうち小竹(中村川以東)・川勾・山西・東ヶ丘・中村原(県道中井羽根尾線以東)・羽根尾(東海道本線以南)・中井町井ノ口(県道平塚松田線以南)	二宮町のうち一色・百合が丘一丁目～三丁目・川勾・山西(梅沢川及び町道170号線以西)

《通常応援出場区域(自動車専用道路受持区域)》

二 宮 町	大 磯 町
小田原・厚木道路のうち、二宮インターから大磯インターまでの区間の上り線。 西湘バイパスのうち二宮インターから大磯西インターまでの区間の上り線。	小田原・厚木道路のうち、大磯インターから二宮インターまでの区間の下り線。 西湘バイパスのうち大磯西インターから二宮インターまでの区間の下り線。

二 宮 町	小 田 原 市
小田原・厚木道路のうち、二宮インターから小田原料金所までの区間の下り線。 西湘バイパスのうち二宮インターから国府津インターまでの区間の下り線。	小田原・厚木道路のうち、小田原料金所から二宮インターまでの区間の上り線。 西湘バイパスのうち国府津インターから二宮インターまでの区間の上り線。

## ◇ 消防水利 ◇

二宮町内の消防水利は水資源の関係から、大部分が消火栓で充足されていますが、市街地周辺部は水道管口径が細いため水利が不足しています。このため水利不足地域の解消と、震災時の水利確保を図るため防火水槽を設置し、充実確保に努めています。

### ▼消防水利の現勢調▼

(平成26年4月1日現在)

種別 区分	水利 合計	消 火 栓			防 火 水 槽			そ の 他	
		小計	公設	私設	小計	公設	私設	プール	濠池等
基 準 数	409								
適 合 水 利	360	301	300	1	59	53(耐震16)	6(耐震5)		
充 足 率	88%								
現 有 数	448	372	371	1	74	68	6	2	

※ 適合水利とは、消防水利の基準に適合した施設数

消火栓は、直径150ミリメートル以上の管口径に取り付けられたものがふさわしく、また防火水槽についても常に40トン以上貯水されたものが消防水利として適しています。

※ 現有数とは、消防水利の基準にかかわらず全部の施設数

※ 防火水槽74基のうち21基が耐震性貯水槽

## ◇ 気 象 ◇

気象観測による情報は、火災の予防や消防活動全般に大切であるとともに、風水害などの予防や被害軽減のために重要な役割を果たしています。

火災は、気象条件と密接な関係があるため、気象条件によっては火災の規模や出火率も左右されます。

また、各種災害では、常に気象条件を考慮した活動が要求されるため365日、気象観測装置による観測を実施しています。

### ▼ 月別気象状況 ▼

(平成25年度)

種別 月別	気温(℃)			湿度(%)			風速 (m/s)		天 候(12時)				降 水 日 数	最 多 風 向	降 水 総 量 (mm)
	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 大	平 均	晴	曇	雨	雪			
4月	24.6	2.8	16.6	96.2	23.6	56.7	11.3	3.1	16	11	2	1	10	南南東	206.0
5月	27.4	5.9	20.8	96.2	40.3	64.0	16.8	2.4	19	9	3		10	南東	61.0
6月	31.2	13.6	23.7	95.8	45.7	65.6	17.1	3.0	12	14	4		11	南南東	136.0
7月	34.8	17.7	27.5	94.5	49.2	66.8	11.3	2.9	18	11	2		11	南南東	134.0
8月	35.8	19.2	29.9	93.0	43.4	89.8	13.7	2.2	22	8	1		8	南南東	85.0
9月	34.9	11.9	26.7	94.8	25.5	54.9	20.4	2.5	20	8	2		10	東北東	346.5
10月	31.6	9.1	22.0	96.3	29.3	60.1	23.2	2.5	18	8	5		11	北北東	245.0
11月	21.5	0.5	15.6	96.7	28.4	48.5	16.2	3.5	21	8	1		5	南東	29.0
12月	17.4	-2.5	10.8	96.6	17.9	44.4	16.9	2.2	23	6	2		6	南南東	53.0
1月	16.2	-3.3	8.8	97.2	14.3	45.3	14.3	2.3	24	6	1		2	東	35.0
2月	18.9	-2.1	7.3	97.6	23.9	44.2	12.6	2.1	10	15	1	2	3	東	79.5
3月	22.8	-3.3	11.7	96.0	4.7	65.1	16.3	2.8	18	8	5		7	南南東	142.5
平均	26.4	5.8	18.5	95.9	28.9	58.8	15.8	2.6	18	9	2	0.25	8	南南東	129.4
合計									221	112	29	3	94		1,552.5

注記：気温、湿度、風速の平均値は正午観測値より算出

▼ 横浜地方気象台予報等発表状況等調 ▼

(平成25年度)

種 別	月 別												
	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大雨警報	17				1		12	4					
洪水警報	13						10	3					
波浪警報	18						6	5	3			2	2
暴風警報	10	1					3	4	3				
大雪警報	2											2	
暴風雪警報	2											2	
大雨注意報	54	3		1	15	9	9	11	1			2	3
洪水注意報	48		2	1	15	8	10	8	1				3
強風注意報	334	44	17	11	17	18	33	30	31	35	33	25	40
波浪注意報	123	15	4	7	7		18	20	5	12	3	14	18
高潮注意報	5						2	3					
雷注意報	214	9	8	8	54	47	34	20	10	5	1	7	11
乾燥注意報	155	31	11						12	30	42	12	17
濃霧注意報	4		2						1			1	
低温注意報	15									2	10	3	
大雪注意報	4											4	
着雪注意報	8											8	
風雪注意報	9										1	8	
霜注意報	14	11	3										
竜巻注意報	7							2	3	2			
火災予防に関する情報	195	33	13	2	3	3	4	6	21	31	43	14	22
台風に関する情報	19						10	9					
土砂災害警戒情報	17						11	6	0				
雪に関する情報	13									4	9		

▼ 過去5年間の気象 ▼

区 分		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
1日平均風速(m/s)		2.2	2.3	2.3	2.7	2.6
最多風向		南南東	南東	南南東	南南東	南南東
降水量(mm)		1642.0	1872.5	1750.0	1483.5	1552.5
平均気温(℃)		17.9	18.0	18.0	18.7	18.5
平均湿度(%)		61.0	58.6	58.0	57.1	58.8
天気 日 数	晴	180	214	204	221	221
	曇	146	120	127	107	112
	雨	39	30	33	36	29
	雪		1	2	1	3

注記：正午観測値より算出

二 宮 町 消 防 年 報

平成 26年 9月 発 行

編 集 発 行 二 宮 町 消 防 本 部

〒259-0131 神奈川県中郡二宮町中里711-1  
TEL(0463)72-0015(代)  
FAX(0463)72-0117